



↑もじゃこ^{もじゃこ}と他の魚を選別する漁協職員ら

★ ブリの稚魚もじゃこ漁 長島の海の風物詩

春はブリの子どもの漁期です。全国有数の養殖ブリ産地である本町。このブリの稚魚であるもじゃこ漁が4月12日から29日まで行われました。

もじゃこ漁には、東町漁業協同組合所属の30隻と北さつま漁業協同組合長島支所所属の7隻が出航しました。東町漁協によると、今年の魚体は大き目で、比較的近海で捕れたそうです。

採捕されたもじゃこは生簀^{いけす}に入れられ、漁協職員らによりアジやメバルなど他の魚と選別され、町内の養殖業者へ引き取られていきました。

現在、数センチほどのもじゃこたちは、2年以上の歳月を経て、3キ^キから10キ^キのブリへと成長し、全国各地へ出荷されます。

↓施工業者が杭を打ち込み、発電施設の建設がスタート



★ 風力発電施設建設安全祈願祭 地球にやさしいエコのまちへ

風力発電施設の建設が進められている本町に、さらに1基の風車が設置されることになり、4月26日、馬込の建設現場で安全祈願祭が行われました。

事業主は長島黒ノ瀬戸風力発電株式会社で、本年12月の発電開始を目指します。式典では、施工業者や住民らが玉串を捧げて工事の無事を祈りました。

風車は直径が82^m、最高到達点^mが121、出力は1,980^{kw}で、約1,100世帯の電力使用量に相当します。この施設が完成すると、本町の丘陵地帯には26基の巨大風車が勇壮にたち並びます。

★ 平成20年度転入学校職員宣誓式 3 惚れを心に刻み活躍を

町内の小・中学校に今春転入した学校職員の宣誓式が4月11日、長島町文化ホールでありました。

式では、中橋藤七教育長が「ようこそ長島へ、心から歓迎します。地域、子ども、自身の配偶者の3つに惚れて、子どもたちのために活躍してほしい」と歓迎。転入学校職員を代表して川床小の日高敬二教諭が「教育公務員の職務とその責任の特殊性を深く自覚し、誠実かつ公正に職務を執行することを誓います」と力強く宣誓しました。

転入された先生方には、長島の風土になじみ、子どもたちへの熱血指導を期待したいものです。



↑本町の学校に今春赴任された先生方52人が勢ぞろい